

津波・水害 対策用 防災頭巾付き救命胴衣

水害・津波の避難警告発令時に着用して高台に避難してください



Life Jacket Against Tsunami

人間は津波や大規模水害の前では無力な存在でしかありません。着衣のままでは泳ぐことすら困難であり、波とともに様々な瓦礫が凶器と化して襲いかかってきます。しかし自分自身はもちろんのこと愛する家族や隣人を守るための手だてを考えなくてはならない…。カザワモデル ライフジャケットは、そんな極限の状況で役立つことを目的に開発いたしました。このジャケットはバランスよく身体を浮かせることはもちろんのこと頭部や臀部も保護することでダメージを大幅に軽減し、分厚いウレタンフォームは寒冷時の体温保持にも有効です。また救助時に役立つフレクターや呼び笛も装備。最悪の場合にも本人確認ができるネーム欄。登録制により災害保険にも加入することができます。まさに命を守るジャケットとしてできる限りの装備と配慮を詰め込みました。ことに日本の国土はいま災害の想定が激しく変化しつつあります。それだけに「もう来ないだろう…」ではなく「来たらどうするか…」をお考えください。



頭部の保護



臀部の保護



本人確認用 ID 記入欄



ホイッスル装備



内ポケット

【製造・輸入元】カザワトレーディングカンパニー

〒658-0033 兵庫県神戸市東灘区向洋町西6-17 <http://www.kazawatrading.com>

頭部、胴体部、臀部への衝撃をも万全にガード これが災害用ライフジャケットの理想型

▼ ライフジャケットの着用手順



①着用準備
パッケージから取り出し、装着すべき8つのバックルを確認してください。



⑤胴体部ベルト
バックルのベルトは、右側に長さ調節の余地があり、体型にフィットするようしっかり調整してください。



②フィッティング
本品を羽織った時点では、すべてのハーネスのバックルはセットされていない状態です。



⑥胸部ベルト
同じく、バックルのベルトを調整しますが、その際、呼吸がしやすいように気をつけてください。



③脚部ハーネス1
まず脚部ハーネスを股下から前へ出し胴体部下バックル(凹)にバックル(凸)を装着します。



⑦頭部ファスナー
最後に、動きやすいよう調整が確認できれば、髪の毛をファスナーに巻き込まないように締めてください。



④脚部ハーネス2
次に、臀部下のバックル(凹)にバックル(凸)を装着。ヒモの後ろ端を持ち、脚部にフィットするよう調整してください。



⑧着用完了確認
屈伸運動や、軽く腕を回すなどしてフィッティングの具合を確認してください。

購入後は事前に
着用確認を
行ってください。



・大人用ライフジャケット

【身長 135cm～・体重 120kgまで】

・子供用ライフジャケット

【3歳以上・身長 80cm～135cm・体重 50kgまで】

レギュラーサイズのライフジャケットに加えて、新たに子供用も販売を開始しました。このカザワモデル子供用ライフジャケットは、四頭身の子供がバランス良く浮くように設計されています。

※着用の際は、必ず大人がその装着具合を確認してください。また、災害時を想定した帽子での避難訓練もぜひ行ってください。

・幼児用ライフジャケット

【体重 20kgまで】

